

[← ホームに戻る](#)

リッチメニューの作成方法

リッチメニューを使用することで、LINEの下部分にあなたが見せたいコンテンツを常に表示することができます。



<リッチメニューの作成方法>

リッチメニューを作成するには、事前に表示させる画像を用意する必要があります。
画像はメニューを何分割したとしても、**1つのファイル（画像）としてアップロードしなければならない**ので注意してください。

※リッチメニューの画像の推奨サイズは以下のとおりです。

2500px × 1686px

2500px × 843px

1200px × 810px

1200px × 405px

800px × 540px

800px × 270px

サイズが合わないと、動作しないので注意してください。

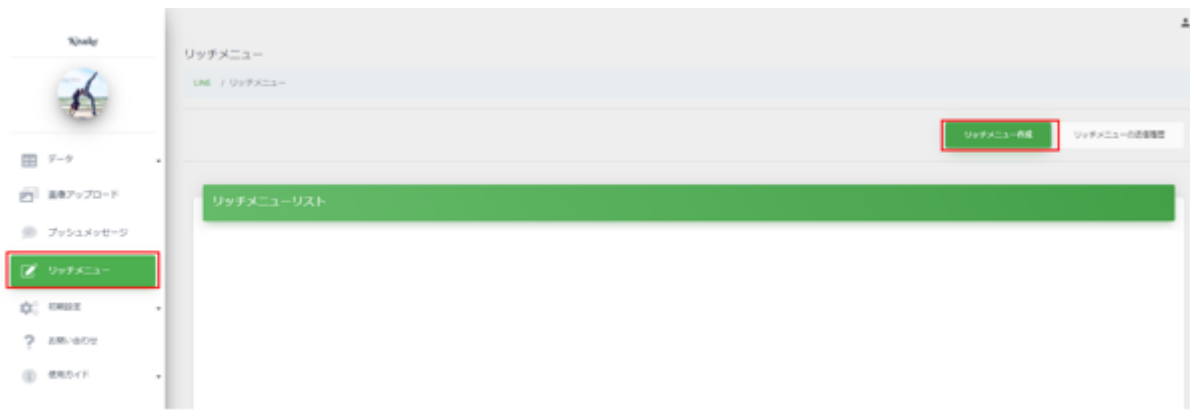
ファイルのアップロードをするために、サイドメニューの「画像アップロード」より、ファイル選択を押してください。



その後アップロードボタンを押し、一覧に画像が表示されればOKです。

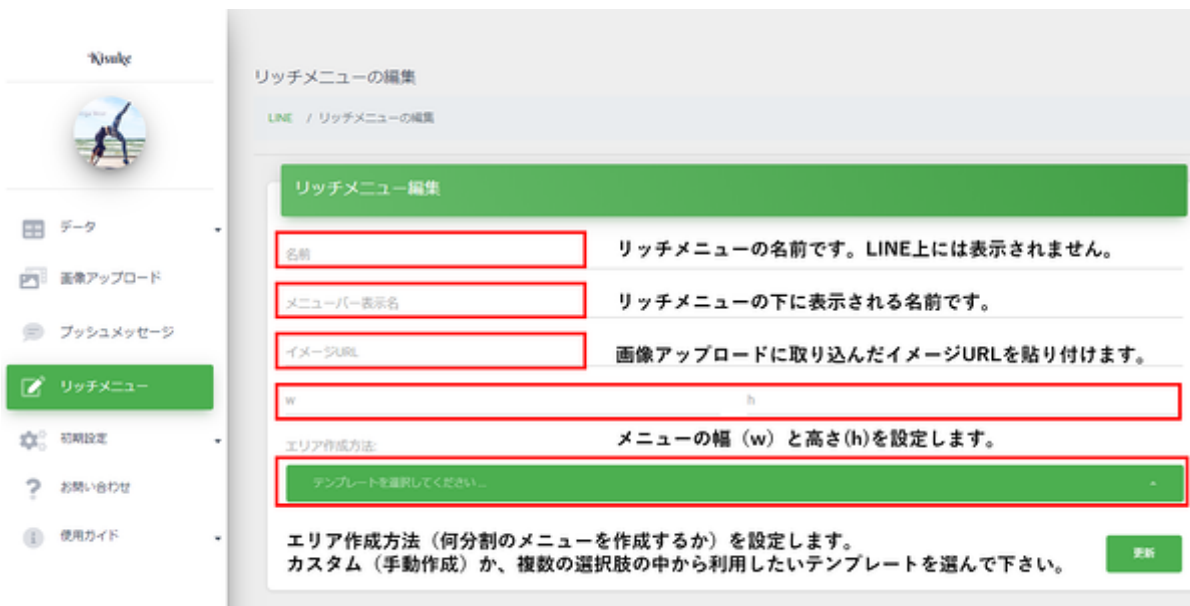
続いて、メニューの作成にとりかかります。

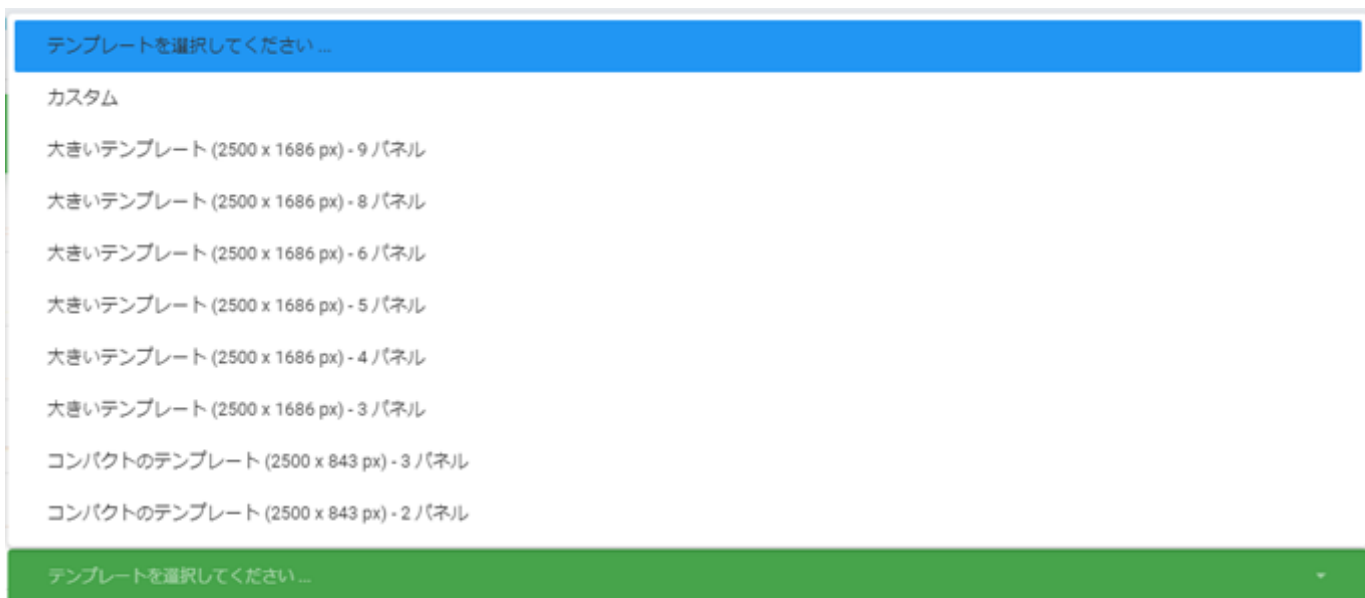
サイドメニューの「リッチメニュー」を選択肢、画面右上のリッチメニュー作成をクリックします。



<リッチメニューの編集>

リッチメニューの表示名と先ほどメディアより取り込んだイメージURLを記入し、表示する画像のサイズを設定します。※**タブ付き（画面切り替え）のリッチメニューの作成方法は、後述します。**





今回は、6パネルのテンプレートで設定を行います。

<メニューのエリア追加>

テンプレートを利用する場合



テンプレートを選択すると、画面右上にイメージ画像が表示されます。

今回は、テンプレートの6パネルを選択したので、画面上には6パネルのイメージ画像が表示され、その下に、パネル1～6までのメッセージやURL設定枠が設置されています。

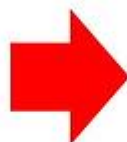
それぞれのパネルにメッセージもしくはURLを設定し、右下の更新ボタンを押してください。

最後に画面右上の「デフォルトとしてLINEにプッシュ」を押せば、公式アカウントを登録しているすべてのユーザーに対して、設定したリッチメニューが表示されます。

※セグメント別に配信したい場合は、「セグメント毎にLINEをプッシュ」ボタンを押し、設定を実施します。

タブ付きのリッチメニューを作成したい場合

タブの切替でコンテンツを複数表示



セール品情報のタブを押すと・・・

リッチメニューが切り替わる

上記の図のように、タブボタンを押すと画面が切り替わるリッチメニューを作成したい場合、タブ付きのメニューを2枚用意する必要があります。

タブなしのリッチメニューの際と同様に、2枚分のリッチメニューを作成して下さい。

※今回は、6分割+2タブのテンプレートを利用します。

1枚目のタブ

The screenshot displays a rich menu editor interface. On the left, a preview shows a menu with two tabs: 'TOP' and 'セール品情報'. The 'TOP' tab is active, displaying a 2x3 grid of menu items: HOME, YOGINI ブログ, 人気ランキング, Instagram, お問い合わせ, and クーポン. Below the preview is a metadata table.

id	c754963e-2779-4e69-882e-f12e595e689e
名前	Kiuh4セグメント別リッチメニュー
メニュー表示名	←既になる場合は入力してね
サイズ	2000 x 1486
更新日	2019/11/29 12:53:25
作成日	2019/11/29 12:50:37

On the right, the 'エリア' (Area) configuration panel shows a 2x3 grid of tabs labeled 'TAB-1' and 'TAB-2'. Below this is a list of content slots for each tab, labeled from /C/S/TAB-1 to /C/S/4. A '保存' (Save) button is located at the bottom right of the configuration area.

2枚めのタブ

リッチメニュー編集

TOP

セール品情報

トラベル ライトウェイト
レーサーバック
マタニティ タンク
10,200 → ¥8,150



オールデイ タイツ
(Alala)
¥11,900 → ¥9,550



トゥー ポイント
ループ タンク
(Beyond Yoga)
¥7,200 → ¥6,150



コウト イン ミディハイ
ウエスト レギンス
(Beyond Yoga)
¥13,200 → ¥9,300



チャコール ヨガ キャリー
アンド ストレッチ ストラップ
(Yellow Willow)
¥2,500 → ¥1,350



SALE

更にセール情報を見る

id 5272f2dd-58c9-401e-8d9c-16fa6f911db4

名前 Kisukeセグメント別リッチメニュー2

メニュー表示名 一気になる商品を入力してね

サイズ 2500 x 1686

エリア

大きいテンプレート (2500 x 1686 px) - 6 / タブ 2 TAB

TAB-1	TAB-2
1	2 3
4	5 6

パネル TAB-1

パネル TAB-2

パネル 1

パネル 2

パネル 3

パネル 4

パネル 5

パネル 6

更新

※作成方法は、上記「リッチメニューの作成方法」と同様です。

2枚のリッチメニューの作成が完了したら、それぞれのタブの設定を行います。

画面右側のエリア設定から、リッチメニューを変更したいボタンを選びます。

今回は、Tab 1 に設定をします。

Action項目の、チェンジメニューを選択します。

エリア

大きいテンプレート (2500 x 1686 px) - 6 / タブ 2 TAB

TAB-1	TAB-2
1	2 3
4	5 6

パネル TAB-1

パネル TAB-2

Size (w x h): 1350 x 180 Position (x, y): 1250, 0

Action:

change menu

リッチメニューを選択してください...

Change menu を選択すると、リッチメニューを切り替えることができる。

エリア

大きいテンプレート (2500 x 1686 px) - 6 パネル 2 TAB

TAB-1		TAB-2
1	2	3
4	5	6

パネル TAB-1

パネル TAB-2

Size (w x h): 1250 x 180 Position (x, y): 1250, 0

Action:

change menu

リッチメニューを選択してください。

切り替えたいリッチメニューを、以下の一覧から設定します。

メニューの選択が完了したら、画面上の「LINEにプッシュ」を選択します。

これは、作成しているリッチメニューデータを更新するボタンです。

メニューを複数作成する

LINEにプッシュ セグメントごとにLINEにプッシュ デフォルトとしてLINEにプッシュ

エリア

大きいテンプレート (2500 x 1686 px) - 6 パネル 2 TAB

TAB-1		TAB-2
1	2	3
4	5	6

パネル TAB-1

パネル TAB-2

Size (w x h): 1250 x 180 Position (x, y): 1250, 0

Action:

change menu

設定が完了しました。

Tab-2のボタンを押せば、リッチメニューが切り替わります。

カスタム（パネルの数や形を自分で決めたい場合）

設定されたテンプレートではなく、自分でパネルの数や形を決めたい場合、エリア作成方法のカスタムを押し、以法」と同様です。

下の手順でパネルを作成していきます。

メニューのエリア追加を行います。

今回は1200px (W) × 405px (H)の画像を3分割して3つのアクションを作っていきます。

=高さ (H)405×幅 (W)120/3 = 400

画面の405×400のアクションを作るイメージです。



まずは一番右のメニューをタッチ可能に設定します。

デフォルトとしてLINEに連携

エリア追加

height width

x y

message

追加

400 x 400 (0, 0)	b (message)	削除
400 x 400 (400, 0)	c (message)	削除
400 x 400 (800, 0)	c (message)	削除

- ① リッチメニューをタッチできる高さ (h) と幅 (w) を設定します。
- ② 上記の設置位置を設定します。
- ③ タッチした際に表示されるメッセージや画像を設定します。

①リッチメニューのタッチ可能範囲（高さと幅）を設定します。

今回のような3分割の場合、

height = 405, width = 400だと隙間なくメニュー画面を作成できます。

※画像では400×400になっています。

400×400のタッチ可能な見えないボタンを設定しました。

このままだと、どこにそのボタンを配置するかが決まっていないので、②で座標を設定します。

②作成したボタンの設置位置（座標）を設定します。

右のパネルは、X軸のスタートが800,Y軸のスタートが0になっています。

<補足>

左のボタンの設置位置のスタートはx軸が0,Y軸が0

真ん中ボタンは、X軸のスタートが400,Y軸のスタートが0



③メッセージや画像の設定

タッチした際に表示されるアクションを設定できます。
 テキストと画像の2パターンの設定が可能です。

Massege=Lineのトーク上で表示されるメッセージを設定。

URI = 表示したい画像や動画（メディアファイルに事前に入れたURLをアップロード）と
 labelに表示されるテキストを設定。

上記は3分割ですが、クリック可能なボタンのサイズ設定と、座標の位置を正しく設定できれば、自由にカスタマイズすることが可能です。

この記事はお役に立ちましたでしょうか？

はい

いいえ

関連記事

[コールアウトコマンドテキストの設定方法](#)

[Shopifyの商品情報と顧客情報がKisukeに取り込まれない。](#)

[Kisukeで可能なセグメント分けのパターン](#)

[プッシュメッセージの設定方法](#)

[LINEにコマンドを入力してもコレクションが表示されません。](#)

[ヘルプセンター](#)

[トランスコスモス技術研究所に移動](#) 

[← ホームに戻る](#)

リッチメニューをユーザー毎に出し分ける（セグメント配信）方法

リッチメニューのセグメント配信方法を設定すると、ユーザーを属性毎にメニューを出し分けることができます。

Aユーザー群



会員登録をメイン訴求

Bユーザー群



キャンペーン情報を
メイン訴求

※選択できるセグメントは以下のURLに記載されています。

<https://knowledge.t-rnd.com/knowledge/segment>

セグメント別リッチメニューの出しわけ方法

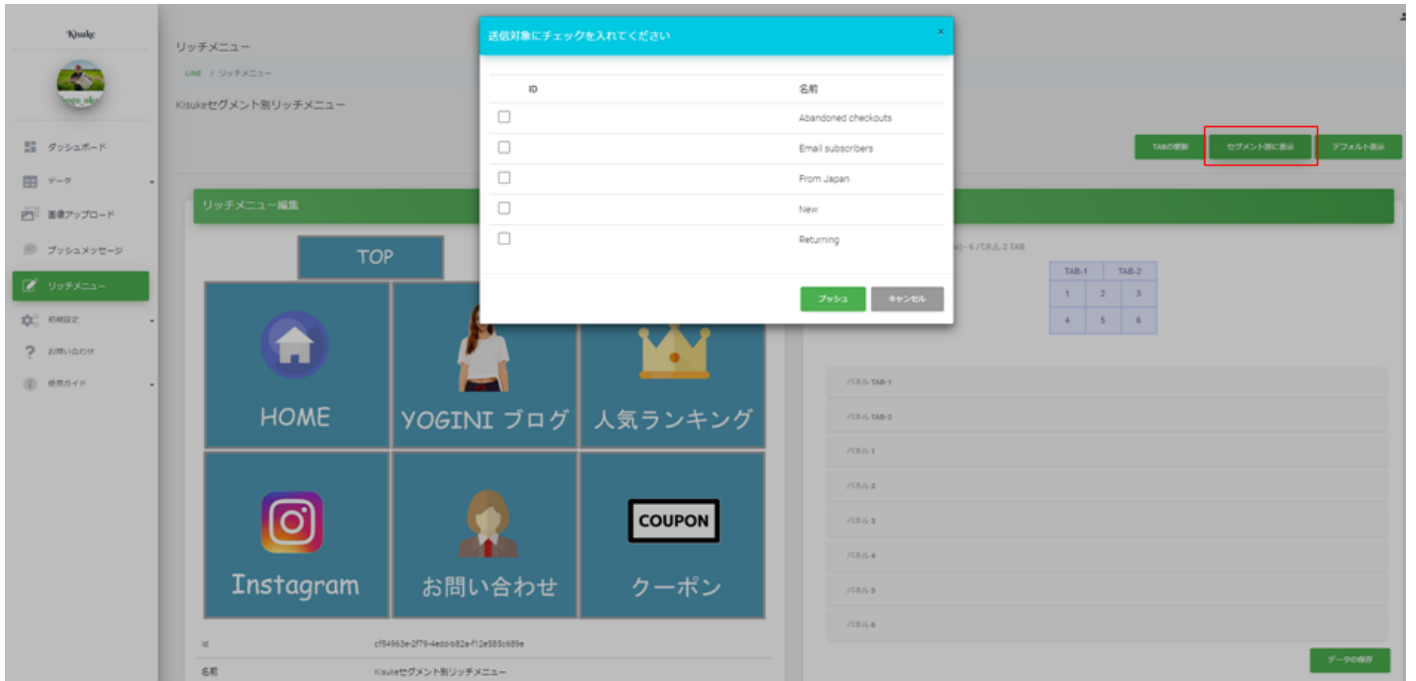
通常と同じ手順で、リッチメニューを作成します。

リッチメニューの作成方法は、以下を参考にしてください。

<https://knowledge.t-rnd.com/knowledge/richmenu>

リッチメニューの出し訳を行うには、リッチメニューの作成ページより、

セグメント別に表示のボタンをクリックし、配信したいセグメントをチェックしたあとに、プッシュボタンをおしてください。



これで設定が完了しました。リッチメニューの出し分けができていればOKです。

この記事はお役に立ちましたでしょうか？

はい

いいえ

関連記事

[コールアウトコマンドテキストの設定方法](#)

[リッチメニューの作成方法](#)

[Shopifyの商品情報と顧客情報がKisukeに取り込まれない。](#)

[Kisukeで可能なセグメント分けのパターン](#)

[LINEにコマンドを入力してもコレクションが表示されません。](#)

ヘルプセンター

[トランスコスモス技術研究所に移動](#) 

[◀ ホームに戻る](#)

Kisukeの登録方法

【事前に用意するもの】

=====

・LINE公式アカウント

=====

登録には、下記のページに遷移する必要がありますが、LINE公式アカウントがあればログイン可能です。

・LINE Official Account Manager (<https://manager.line.biz/>)

・LINE developer (<https://developers.line.biz/ja/>)

Kisuke登録の一連の流れは以下になります。

=====

<STEP1> ストアアプリをインストール

<STEP2> LINE Official Account Manager で「Channel Secret」と「Channel Access Token」を取得

<STEP3> KISUKEに「Channel Secret」と「Channel Access Token」を入力

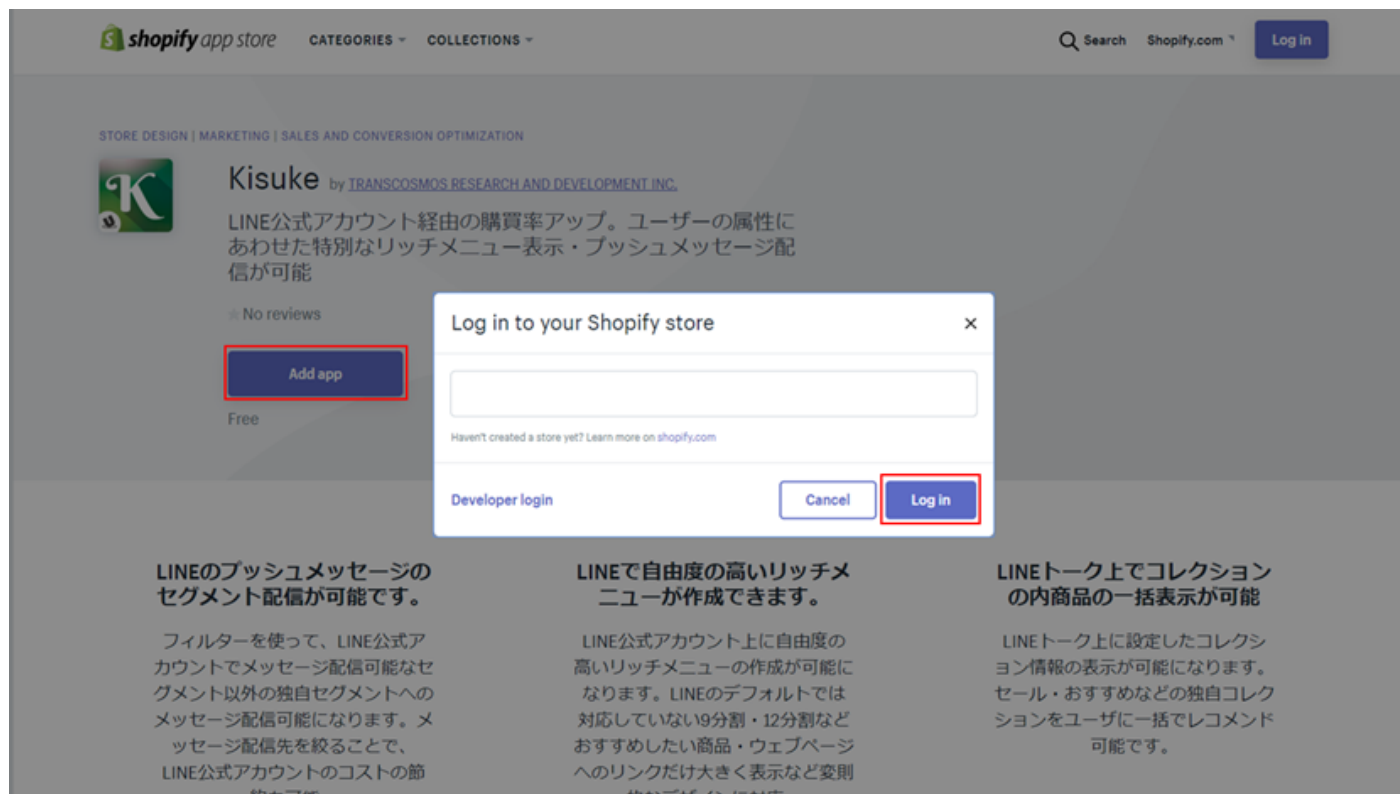
<STEP4> LINE Official Account Managerに戻り、Webhook URLを入力

=====

<STEP1> ストアアプリをインストール

以下のURLより、Shopify上にKisukeアプリをインストールします。

<https://apps.shopify.com/>



The screenshot shows the Shopify App Store interface for the Kisuke app. The app is listed as "Kisuke by TRANSCOSMOS RESEARCH AND DEVELOPMENT INC." with a description in Japanese: "LINE公式アカウント経由の購買率アップ。ユーザーの属性にあわせた特別なリッチメニュー表示・プッシュメッセージ配信が可能". A modal window titled "Log in to your Shopify store" is open, featuring a text input field, a "Developer login" link, and "Cancel" and "Log in" buttons. The "Add app" button on the app card is highlighted with a red box, and the "Log in" button in the modal is also highlighted with a red box. Below the app card, there are three columns of Japanese text describing the app's features: "LINEのプッシュメッセージのセグメント配信が可能です。", "LINEで自由度の高いリッチメニューが作成できます。", and "LINEトーク上でコレクションの内商品の一括表示が可能".

Add appを押し、ShopifyストアのURLを入力して下さい。

あなたはKisukeをインストールしようとしています。



Kisukeは、以下のことができるようになります。

Shopifyアカウントデータを表示する

[詳細を見る](#)

商品を見る

[詳細を見る](#)

注文を管理する

[詳細を見る](#)

お客様を表示する

[詳細を見る](#)

オンラインストアを管理する

[詳細を見る](#)

その他のデータを表示する

[詳細を見る](#)

お客様の個人情報をKisukeから消去するには、アプリを削除してください。48時間後にリクエストがKisukeに送信され、このデータが消去されます。 [データプライバシーについての詳細情報](#)。

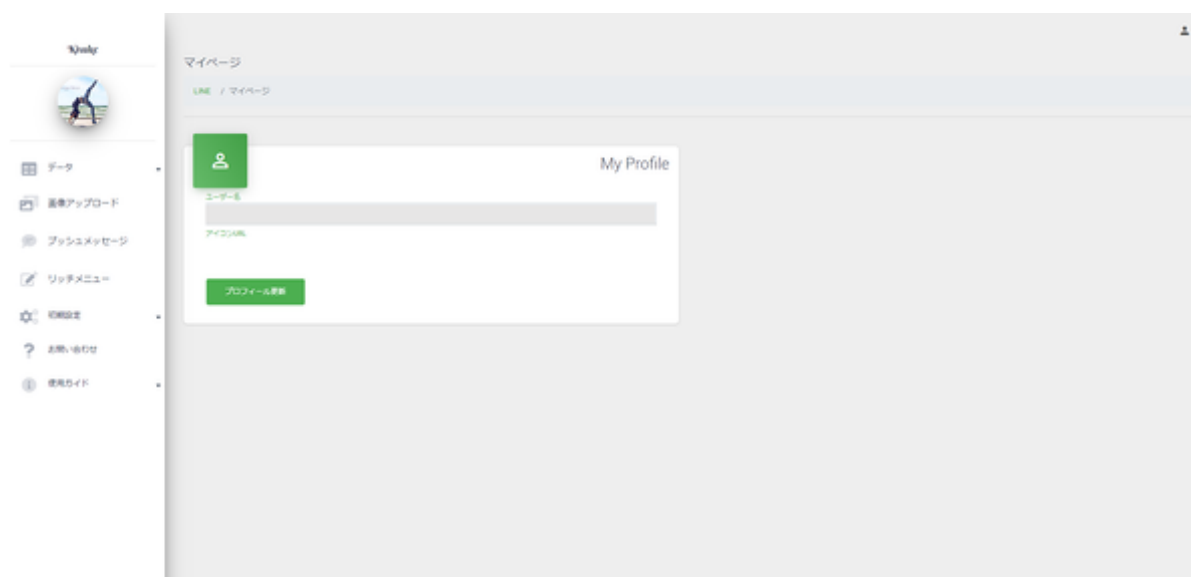
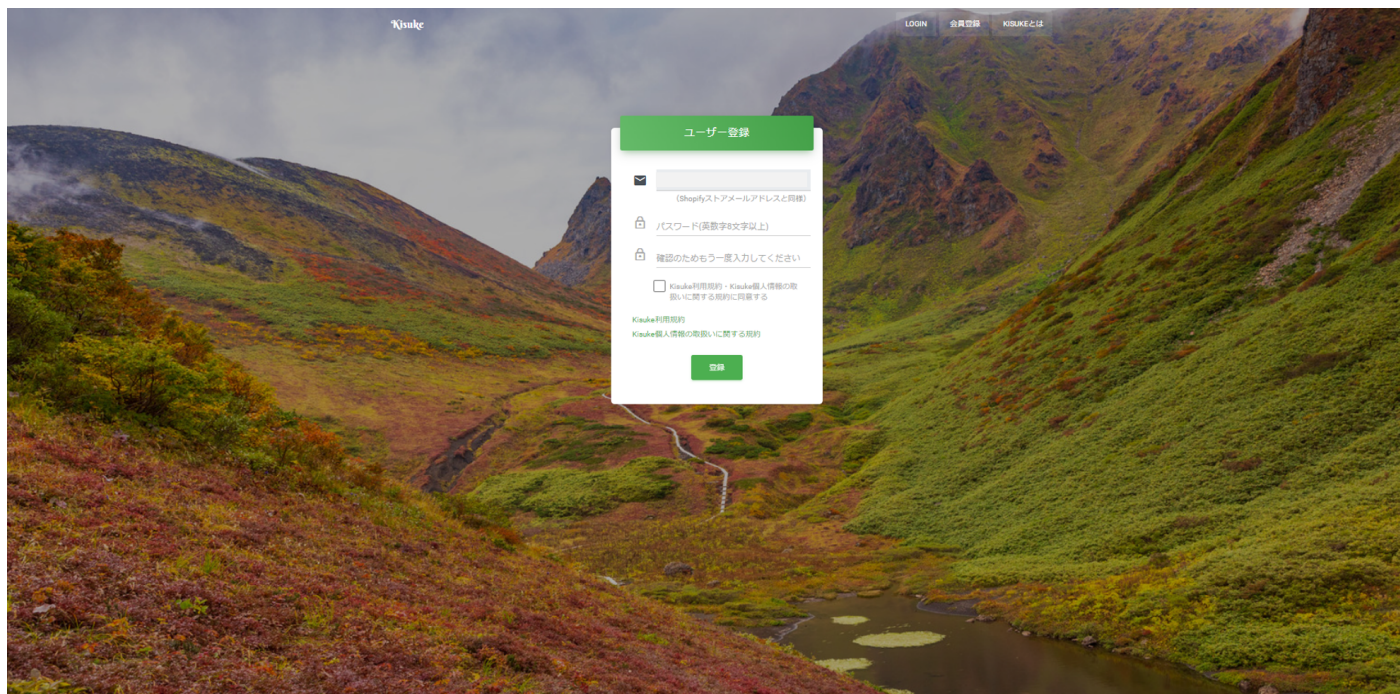
キャンセル

アプリをインストール

続行すると、あなたはShopify [利用規約](#)に同意します。

Shopifyアプリのダウンロードが完了すると、Kisukeのユーザー登録画面に遷移します。

パスワードを記入し、登録ボタンを押して下さい。



<STEP2> LINE Official Account Manager ・ LINE developerより「Channel Secret」と「Channel Access Token」を取得する

続いて、LINEとの連携を行います。

※まだ、自社サイトのLINEアカウントを登録していない方は、先に登録を行ってください。
Kisukeの管理画面を開いたまま、以下のページに移動します。

<https://manager.line.biz/>

トップ画面の右上より設定ボタンを選択し、「Messaging を利用する」をクリックしてくださ

い。



必要事項を入力すると「Channel Secret」が表示されます。



次にLINE developerのプロバイダーリストから、プロバイダーを選択し、アクセストークンを取得します。

<https://developers.line.biz>

チャンネル基本設定

チャンネル基本設定

セキュリティ管理

権限管理

テスター管理

統計情報

LIFP

チャンネルの基本情報（アイコン画像、アプリ名等）設定や必要なチャンネル情報の確認などを行います。
テスター権限の場合は「テスターをやめる」機能のみご利用可能です。

基本情報

アプリアイコン画像、アプリ名は、公式アカウントマネージャーで変更することができます。 [変更はこちら](#)

アプリアイコン画像

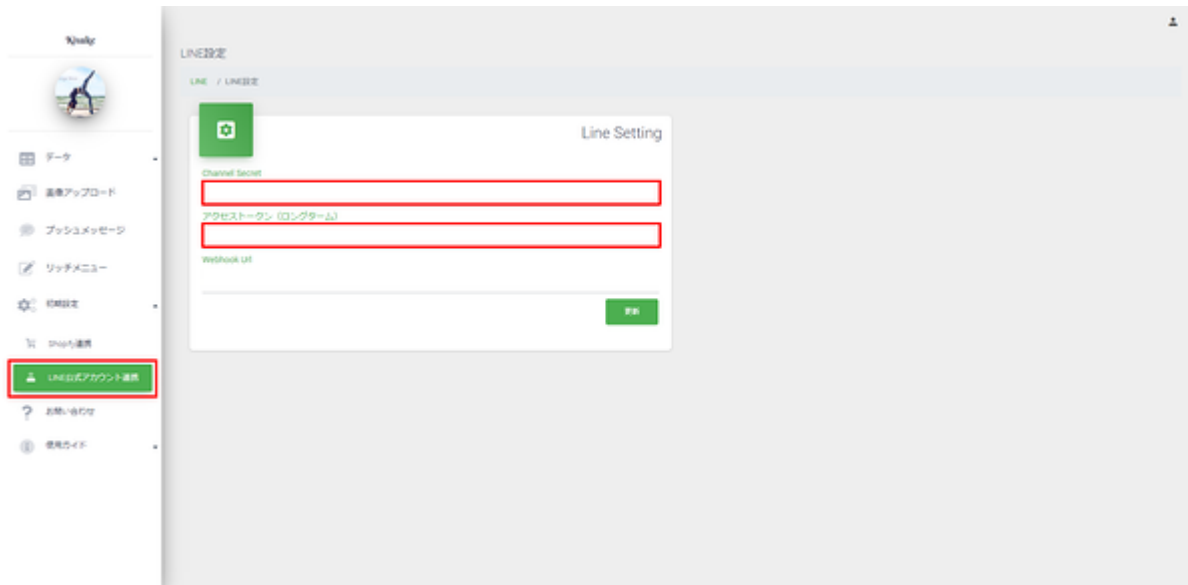
メッセージ送受信設定

アクセストークン
(ロングターム) ①

再発行

<STEP3> KISUKEに「Channel Secret」と「Channel Access Token」を入力

「Channel Secret」と「Channel Access Token」が取得できたら、「KISUKE」の管理画面に戻り、左サイドのメニューから「LINE公式アカウント連携」をクリックし下記のページに遷移します。



画面赤枠の部分に、LINE Official Account Manager とでコピーした「Channel Secret」と「Channel Access Token」を入力します。
すると、Webhook URLが生成されます。

<STEP4> LINE Official Account Managerに戻り、Webhook URLを入力

最後に、KISUKEで生成されたWebhook URLをLINE Official Accountの設定タブ（右上）
→Message API内にある赤枠に入力して完了です。



これでKisukeの登録および連携は完了しました。

Shopify上の商品情報・顧客情報がKisukeに反映されていればOKです。

注意：

LINE Official Account Managerの設定は

応答モード：Bot

応答メッセージ：オフ

Webhook：オン

として下さい。



なお、Kisukeのセグメントの作成方法は、以下をご確認下さい。

<https://knowledge.t-rnd.com/knowledge/segment>

この記事はお役に立ちましたでしょうか？

はい

いいえ

関連記事

[リッチメニューの作成方法](#)

[LINEにコマンドを入力してもコレクションが表示されません。](#)

[コールアウトコマンドテキストの設定方法](#)

[Kisukeで可能なセグメント分けのパターン](#)

[Shopifyの商品情報と顧客情報がKisukeに取り込まれない。](#)

[ヘルプセンター](#)

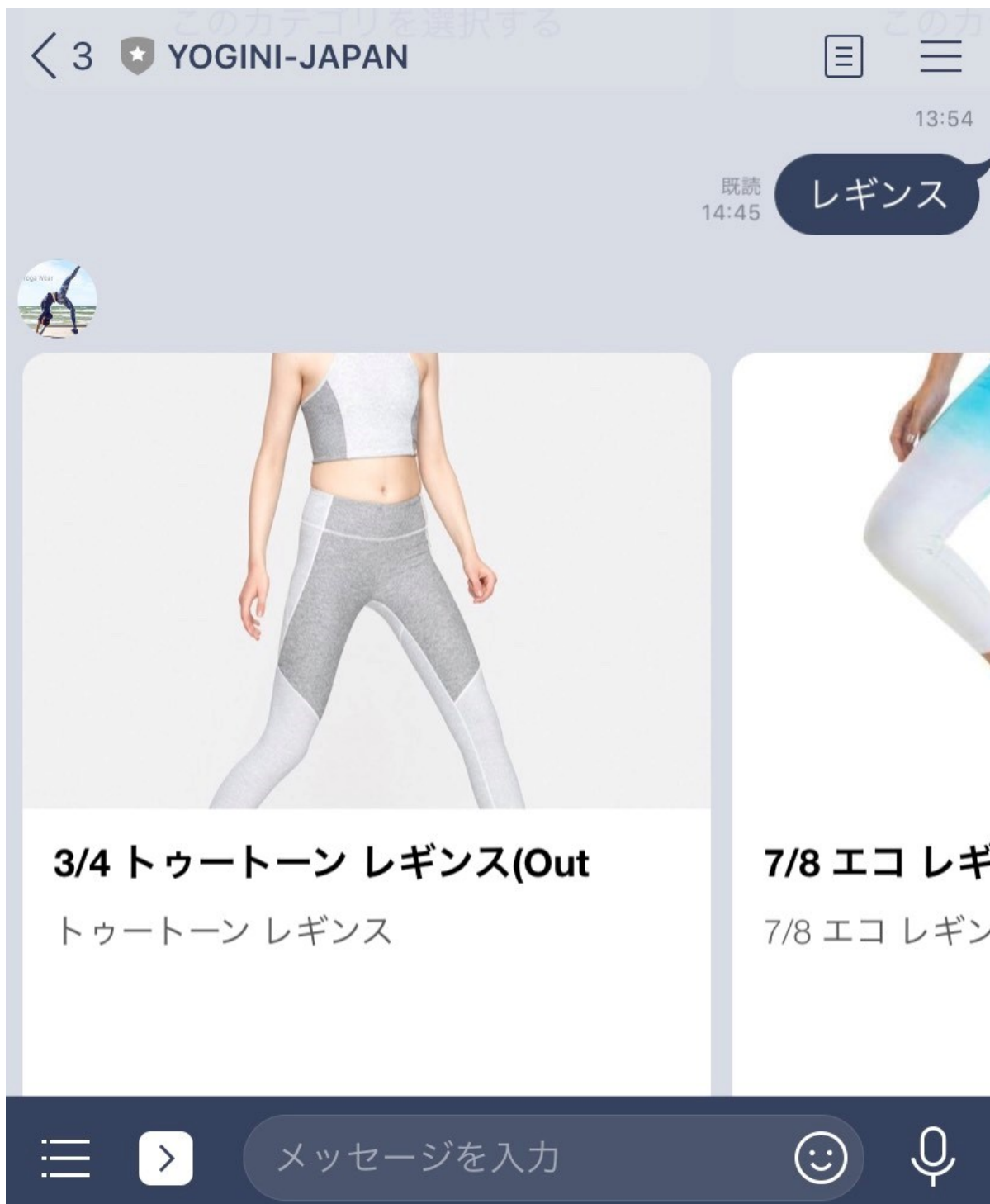
[トランスコスモス技術研究所に移動](#) 

[< ホームに戻る](#)

コールアウトコマンドテキストの設定方法

コールアウトコマンドテキストを設定すると、
ユーザーがトーク画面で話しかけた内容と、

予め設定しておいたキーワードが完全一致した場合に、特定のコレクションを自動的に表示することが可能です。



※ユーザーが、レギンスと入力すると予めレギンスとして設定されたコレクションが表示されます。

コールアウトコマンドの設定方法

設定方法は以下となります。

1.コレクション一覧よりコールアウトコマンドを設定したいコレクションを選択します。



2.コレクションの詳細下部にある「編集」ボタンを選択します。



3.テキスト入力

「短い商品説明(60文字以内)」を記載した後

「コールアウトコマンド」を入力します。

コールアウトコマンドテキストではチャットの中で利用したい言葉や文章をを入力します。



更新を押して設定完了です。

※複数のコールアウトコマンドテキストの適用は、単語の間に「,」をつけることで可能です。

※「LINEで表示」にチェックが入っていない場合、チェックマークを入れて下さい。

設定したコマンドをLINE上で入力して、該当のコレクションが表示されればOKです。

この記事はお役に立ちましたでしょうか？

はい

いいえ

関連記事

[Shopifyの商品情報と顧客情報がKisukeに取り込まれない。](#)

[プッシュメッセージの設定方法](#)

[リッチメニューの作成方法](#)

[Kisukeで可能なセグメント分けのパターン](#)

[LINEにコマンドを入力してもコレクションが表示されません。](#)

ヘルプセンター

[トランスコスモス技術研究所に移動](#) 

[◀ ホームに戻る](#)

プッシュメッセージの設定方法

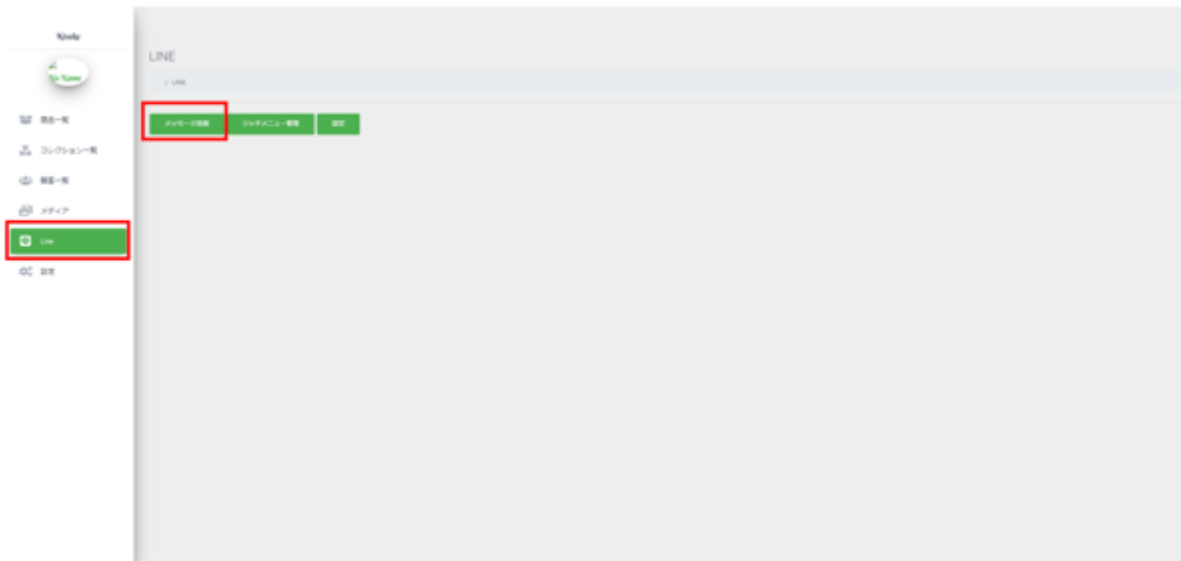
プッシュメッセージには

- ・テキスト
- ・ボタン
- ・カルーセル画像

の3パターンがあり、どれもユーザーにダイレクトにメッセージや画像をおくることが可能です。

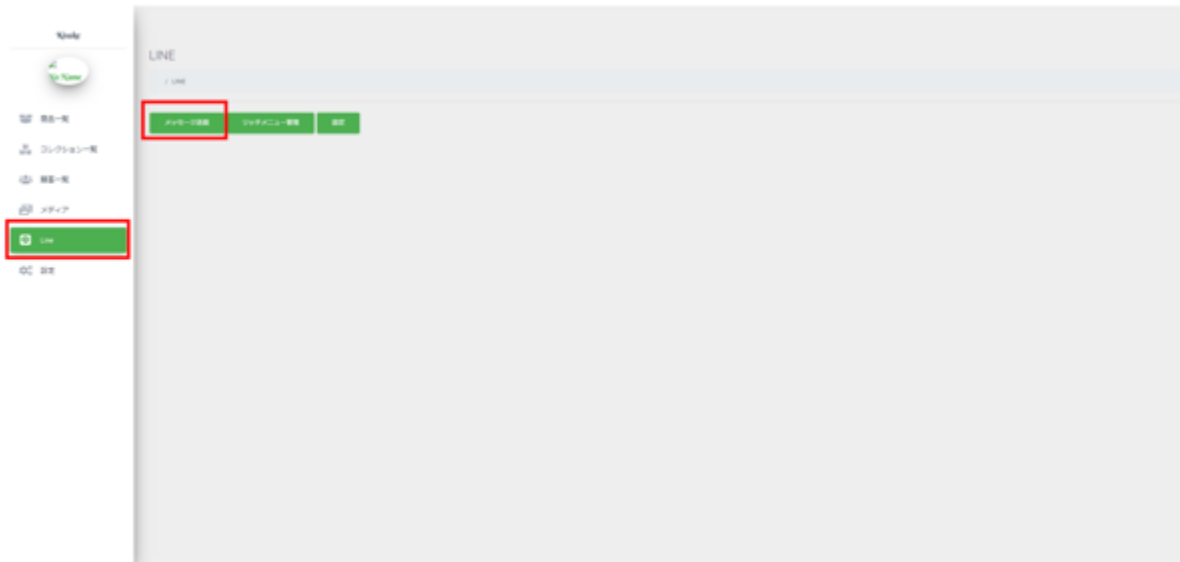
プッシュメッセージの設定方法は以下のとおりです。

画面左のサイドメニュー「LINE」からメッセージ送信を選択



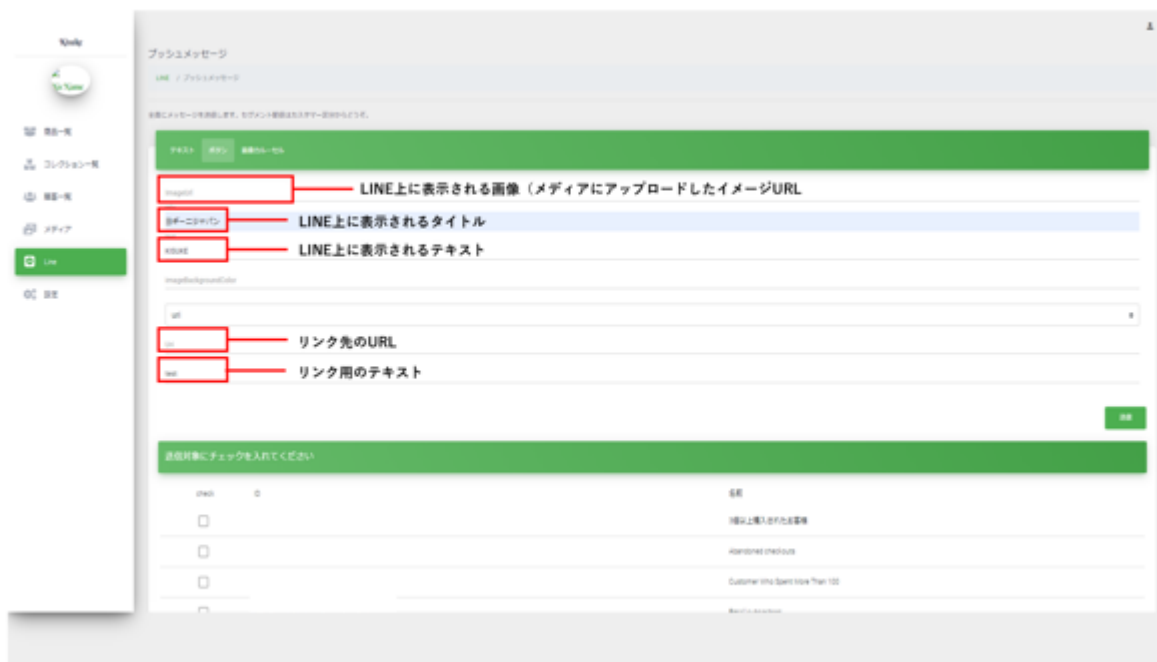
<テキスト>

テキストを選択し、LINE上に表示したい文字を入力



<ボタン>

表示される画像とタイトル・テキストをそれぞれ設定します。



表示イメージは以下になります。



<画像カルーセル>

メニューの「画像カルーセル」をクリックし
表示される画像とタイトル、テキストをそれぞれ設定します。

画像が複数枚配信が可能です。画像ごとにタイトル・テキストなどの設定が必要になります。

Shop

プッシュメッセージ

LINE / プッシュメッセージ

各商品にメッセージを送信します。セグメント配信はカスタマー選択からご利用。

テキスト ボタン 画像を添付する

imageurl — LINE上に表示される画像（メディアにアップロードしたイメージURL）

url

url — リンク先のURL

text — 画像に表示されるテキスト

送信

送信対象にチェックを入れてください

check	名前
<input type="checkbox"/>	3日以上購入されたお客様
<input type="checkbox"/>	Abandoned checkouts

表示イメージは以下になります。



12:32

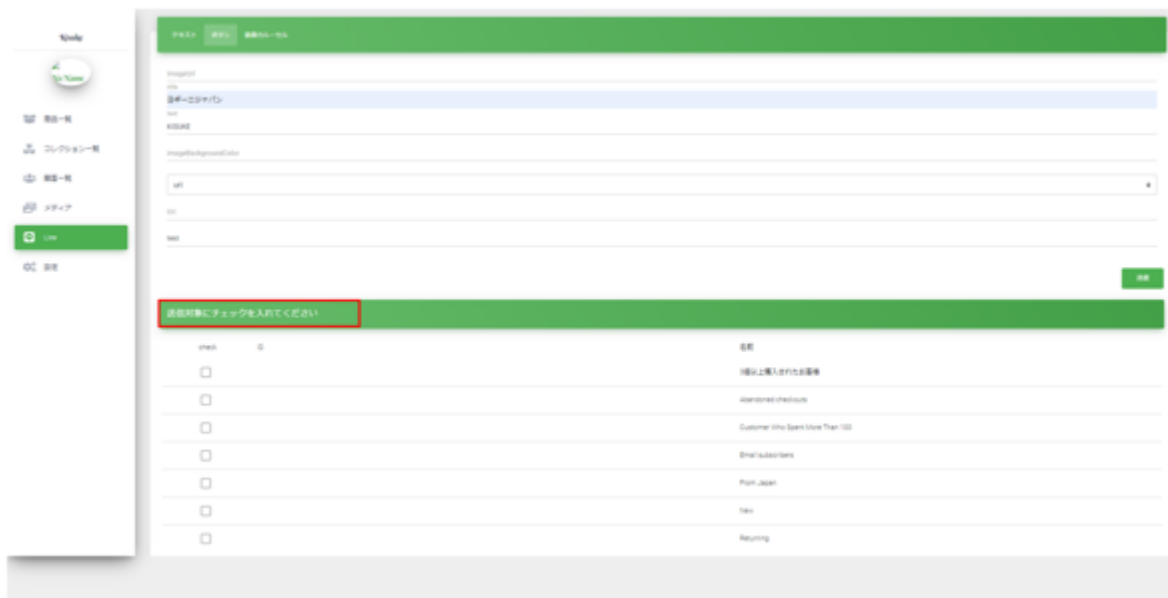


3分割テスト

<セグメント別配信>

配信先のセグメントを区切りたい場合、画面下部の送信対象にチェックを入れてから送信ボタンを押してください。

セグメント配信が可能になります。



なお、セグメントは、Shopifyの管理画面（顧客管理）で設定されたものが、Kisukeにもそのまま反映されます。

参考：<https://knowledge.t-rnd.com/knowledge/segment>

この記事はお役に立ちましたでしょうか？

はい

いいえ

関連記事

[Kisukeで可能なセグメント分けのパターン](#)

[LINEにコマンドを入力してもコレクションが表示されません。](#)

[コールアウトコマンドテキストの設定方法](#)

[リッチメニューの作成方法](#)

[Shopifyの商品情報と顧客情報がKisukeに取り込まれない。](#)

[ヘルプセンター](#)

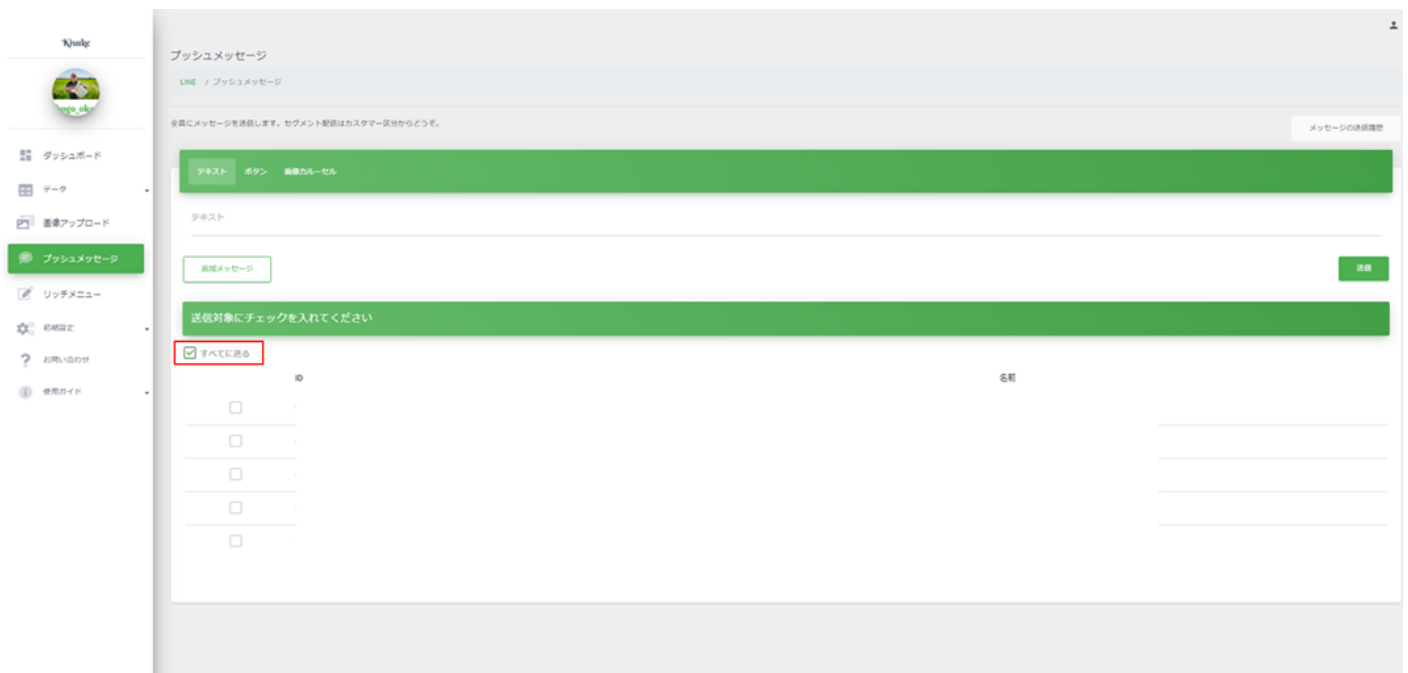
[トランスコスモス技術研究所に移動](#) 

[◀ ホームに戻る](#)

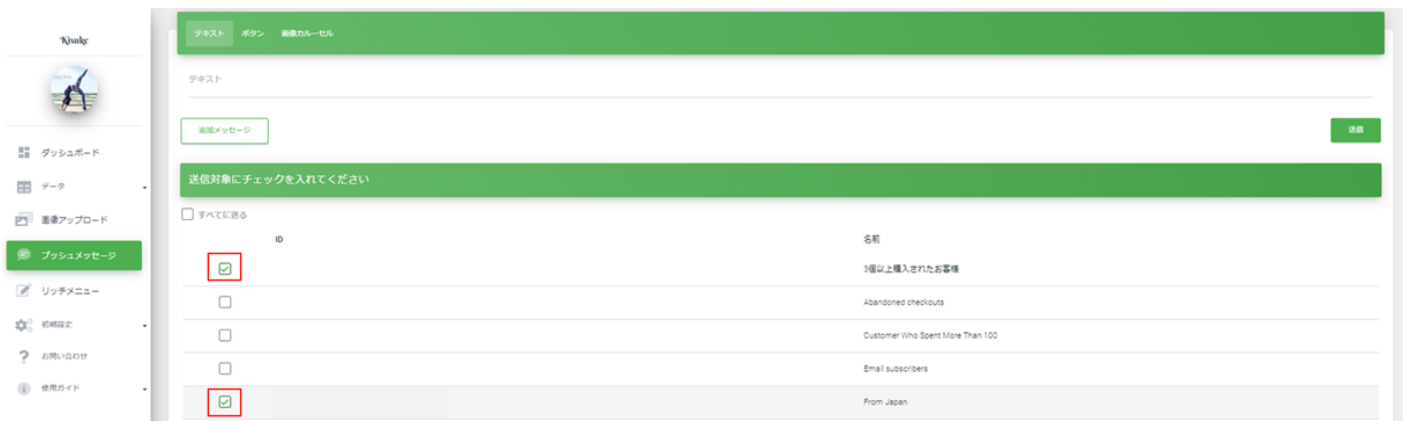
プッシュメッセージのセグメント配信

Kisukeでは、Shopifyの顧客データに基づいたLINE公式アカウントでのプッシュメッセージのセグメント配信が可能です。

プッシュメッセージ、はデフォルトで「すべてに送る」にチェックされています。



セグメント配信をしたい場合は、「すべてに送る」のチェックマークを外して、送信したいセグメントにチェックを入れてください。



送信ボタンを押せば、完了です。

※送信の履歴を見たい場合は、画面右上の「送信履歴」を押してください。

この記事はお役に立ちましたでしょうか？

はい

いいえ

関連記事

[Kisukeで可能なセグメント分けのパターン](#)

[リッチメニューの作成方法](#)

[Shopifyの商品情報と顧客情報がKisukeに取り込まれない。](#)

[コールアウトコマンドテキストの設定方法](#)

[LINEにコマンドを入力してもコレクションが表示されません。](#)

[ヘルプセンター](#)

[トランスコスモス技術研究所に移動](#)

[◀ ホームに戻る](#)

選択できるセグメントの種類とセグメントの作成（Shopify上）方法

Kisukeのセグメント配信は、Shopify上で作成されたセグメントを元を実施されます。こちらにセグメントを作成しないと、Kisuke上に反映されませんのでご注意ください。

セグメントの作成はShopify上で可能です。

「顧客管理」タブからFilterを選択します。



上記より、セグメント分けしたい項目を選択し、「検索を保存する」を押すと、メニュー部分に作成したセグメントが反映されます。



現在選択可能なセグメントは以下となります。

- 支払い総額
- 注文数
- 注文日
- 作成日
- メールマーケティングを受諾する
- カゴ落ち
- アカウムのステータス
- タグ付け
- ロケーション

この記事はお役に立ちましたでしょうか？

はい

いいえ

関連記事

[Kisukeで可能なセグメント分けのパターン](#)

Shopifyの商品情報と顧客情報がKisukeに取り込まれない。

LINEにコマンドを入力してもコレクションが表示されません。

リッチメニューの作成方法

コールアウトコマンドテキストの設定方法

[ヘルプセンター](#)

[トランスコスモス技術研究所に移動](#) 